

「生物多様性ながの県戦略」を策定しました



戦略の位置づけ

- ◇ 生物多様性基本法に基づく地域の特性を活かした長野県の戦略
- ◇ 長野県の生物多様性の現状と、これに対する危機の整理（生物多様性の劣化の進行）
- ◇ 長野県の生物多様性のあるべき姿（40年後のビジョン）と、その実現のために県民や県政が取り組むべき行動計画（生物多様性の劣化に歯止めをかけるべく今後10年間に行うミッション）を示します。

長野県の特性

世界の中でも生物多様性が高い日本、その中でも特に長野県は生物多様性が高い地域です。

環境基盤

- ・ 日本の屋根 日本アルプス等の高山帯
- ・ 複雑な地形・地質、標高差は3000m以上
- ・ 日本海側、太平洋側、内陸と多様な気候

生き物

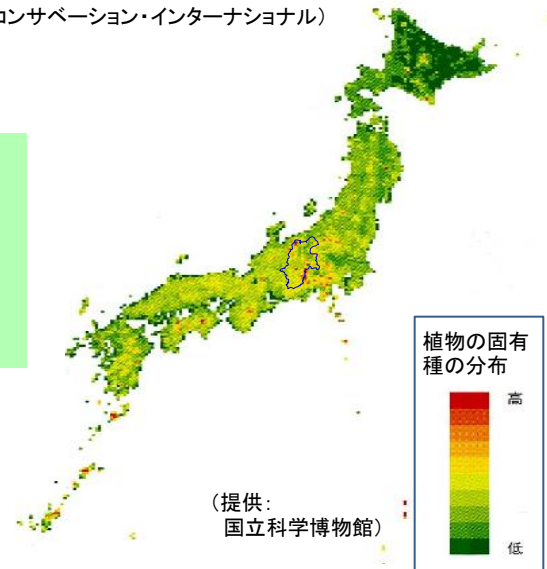
- ・ 固有種（コマウスユキソウ、クビワコウモリ等）が多い！
- ・ 植物の固有種が集中して分布する！
- ・ チョウ類の生息種数は149種で47都道府県中最多！

生物多様性が高くかつ危機が及んでいる地域



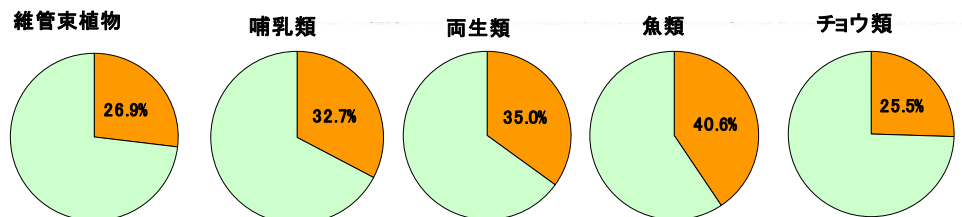
HOTSPOTS
(出典: コンサベーション・インターナショナル)

**長野県は日本屈指の生物多様性の豊かな地域
しかし多くの種で絶滅が心配されている。**



(提供: 国立科学博物館)

県内の絶滅危惧種の占める割合



危機の要因

- ・ 人間の生活や開発行為などによる直接的な影響 → 生息地の分断・破壊、乱獲
- ・ 森林・草地・農耕地の利用衰退による影響 → 身近な里山の生き物が絶滅の危機に！
- ・ 他地域から持ち込まれた生き物による影響 → 在来の生き物を駆逐、交雑して固有性が喪失
- ・ 地球規模で生じている地球温暖化の影響 → 高山の生態系の縮小・分断、開花時期等のずれ
- ・ 国外等の生態系への資源利用による影響 → 他の地域の生態系に悪影響を与える恐れ

40年後のビジョン

「人と自然が共生する信州」の実現

生物多様性は県民一人ひとりにとって大切なものであることを全ての県民が認識し、生物多様性が豊かに保たれ、その恵みが世代を超えて受け継がれていく。

今後10年間のミッション 行動計画

生物多様性の価値を調べ共有する(知る)

県民参画型の情報収集 等

豊かなふるさとの自然を保全する(守る)

希少種の保全、開発や産業活動での配慮 等

自然・生き物に感謝し、その恩恵を享受する(活かす)

里山の活用、環境型農林業の振興、地産地消の推進 等

日本の屋根から発信する(広める)

生物多様性の主流化、教育・普及啓発の推進 等

次世代につなぐ仕組み・基盤を共創する(つなぐ)

多様な主体・施策の連携強化 等



山岳環境の保全と観光利用の両立を図ります。

高山帯

重点施策 5つのプロジェクト(P)

日本の屋根(高山帯)P
歩道・山岳トイレの整備
ライチョウモニタリング

里山活性化P
草原の環境整備等



長野県の特徴である草原環境の維持、再生活動を推進します。

草原環境



自然エネルギーの利用など低炭素・循環型社会の構築を目指します。

温暖化対策

地球温暖化P
温室効果ガス排出削減
対策、吸収源対策

生き物アンテナP
県民参画型レッドリスト
改訂事業



県民総参加で、長野県の生物多様性の調査に取り組みます。

調査

地域連携・協働促進P
信州生物多様性ネットワーク
(仮称)の設立



団体・NPO等との連携を強化し、活動の充実を図ります。

連携・協働

全ての施策の基盤となる連携・協働体制の確立

推進体制・進行管理

- ◇ 県民、行政が連携・協働し戦略を推進
- ◇ PDCAサイクルによる進行管理

詳しくは県HPへ <http://www.pref.nagano.lg.jp/kankyo/hogo/biodiv/index.html>

お問合せ 長野県 環境部 自然保護課 〒380-8570 長野県長野市南長野幅下692-2
電話: 026-235-7178 F A X: 026-235-7498 メール: shizenhogo@pref.nagano.lg.jp